



花宗水門及び新橋水門に  
於ける強制排水ポンプ  
設置について  
石橋 忠敏 議員

**問** 花宗本流の花宗水門への強制排水ポンプ設置の必要性及び新橋水門への設置予定の強制排水ポンプの能力見直しについて伺いたい。

近年の自然環境の変化に伴い、想定外の被害が起こっている現状では、市民も行政も他力本願という甘い考えを捨て、我が身は我が身で守ると強い自主防衛の信念を持ち、行政と市民が丸となり、真の防災事業としての強制排水ポンプの設置を国及び県に対して認めさせる行動を起こすべきである。水害は明日は我が身か、子供の時代か、孫の時代か、という危機感を感じるべきだと思いがどうか。

**答** 潮の干満の影響を大きく受ける本市では、満潮時に流域に大雨が降った場合、筑後川の水位によっては自然排水ができなくなる状態となるため、強制排水ポンプの設置が必要と考えている。筑後川流域、特に中流域から下流域に国土交通省、農水省の排水ポンプ場は数多く存在するが、特に右岸側が多い。ところが本市にはそれが1基も無く、大変難儀している。国に対し要望している。ただ排水ポンプの能力はそれで十分かという議論は残っている。



ごみ減量化対策について  
古賀 龍彦 議員

**問** 燃やせるごみ1000トンの減量計画は。

**答** 26年度までに紙・布系550トン、ビニール・プラスチック系150トン、生ごみ系250トン、その他50トンの減量を目標とする。

**問** 紙・布系550トンの減量計画の内容は。

**答** 家庭ごみの約55%が紙・布類であり、雑紙の徹底した分別をお願いしたい。

**問** 市民への周知・広報の方法は。

**答** 町内、婦人会、公民館の各総会に出向き、雑紙の分別処理資源化等の説明を行っている。家庭のごみ箱の横に「再資源化できる紙用の紙袋」等を準備し、分別するのが一番簡単な方法と考える。

**問** 全世帯に、「紙再資源化用」と書いた

「回収袋」を支給できないか伺いたい。

**答** 一つの方法として、検討させて頂きたい。

**問** 生ごみ系250トンの減量計画の推進及び今後の取り組みについて伺いたい。

**答** 「段ボールコンポスト」は、現在約800世帯で利用されている。清掃センターで講習会を開催しており、広く周知したい。更に、「生ごみひとしぼり運動」は、全世帯で実施すると年間約500万円節減できると予想されるので、その推進と協力を呼びかける。



用途地域北部の  
再生について  
石橋 正毫 議員

**問** 用途地域北部（向島、北酒見、中古賀、鐘ヶ江）の再生プランを伺いたい。

**答** 都市基盤整備を進める必要があるが、国、県と連携を行い、今後、都市計画マスタープランの策定に着手した上で整備を進めたい。

**問** 都市計画道路堤上野線並びに上野大橋線の整備はどう進めるのか伺いたい。

**答** 北部地区の環状線は、何らかの形で事業を進めたい。場合によっては、上野大橋線は市の単独事業でも着手し、県の事業進捗を促したい。

**問** 都市計画道路整備と新橋川の整備は北部

地域再生の重要な鍵である。新橋川改修の進捗状況について伺いたい。

**答** 県は地元の理解を得てできるだけ早く進めたいとしており、整備方針は単数年での完工を考えている。現在、調査設計が行われ、今年度内に説明会が開催されると聞いている。

**問** 新橋川改修後、市民憩いの場として堤防

に桜、ハゼの並木を作るのはいかがでしょうか。

**答** 土手にハゼなどを植えたのは、先人たちが護岸補強などいろんな意味があった。木を植えることは、結構な提案であり、今後議論を重ねたい。